

病理診断科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫における JAK-STAT 経路活性化の意義
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	病理診断科
研究責任者	助教 佐藤 啓
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	琉球大学大学院医学研究科 細胞病理学講座 加留部謙之輔 社会医療法人敬愛会 中頭病院 血液腫瘍内科 林 正樹 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 血液内科 友寄 毅昭 地方独立行政法人 那覇市立病院 血液内科 内原潤之介 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 血液内科 大城 一郁 久留米大学医学部 病理学講座 大島 孝一 沖縄県立中部病院 血液・腫瘍内科 朝倉 義崇 松山赤十字病院 内科 藤崎 智明 沖縄赤十字病院 内科 中里 哲郎 名古屋大学医学部附属病院 血液内科 島田 和之
研究の意義・目的	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫 (DLBCL) における JAK-STAT 経路の活性化の状態、JAK-STAT 関連遺伝子群の異常、および JAK-STAT 経路の DLBCL における機能的意義を明らかにします。それらを通して DLBCL における JAK-STAT 経路の重要性を明らかにすることを最終的な目的としています。これによって今後の診断、治療戦略を構築する上で重要な情報がえられることが期待されます。
対象となる患者さん	2002～2017 年の間に DLBCL と診断された患者さん
研究の方法	多施設共同の後方視的研究であり、後方視的な調査研究として行います。選択基準を満たした方を対象に、その診断時における臨床的所見、血液検査所見について調査表を用いてデータを収集し解析を行います。また、診断時に使用した生検検体もしくは切除標本を用い、免疫組織化学的な評価、JAK-STAT 経路に関わる遺伝子異常の有無、形態像などの病理組織学的所見を再評価致します。治療を行ったものに関しては、治療方法とその反応性

	<p>を調査します。予後については、生死、再発・増悪の有無について調査を行います。</p> <p>これらのデータをもとに、生物統計学的方法によって生存期間、無増悪生存期間、治療法毎の奏功割合、生存期間や無増悪生存期間、奏効割合に影響する予後影響因子について解析します。</p> <p>希望があれば、研究計画の内容を見ることができます。下記問い合わせ先まで御連絡頂ければ対応致します。</p>
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021年3月31日
研究に用いる試料・情報	<p>試料：ホルマリン固定ブロック</p> <p>情報：血液検査結果、放射線画像検査結果等</p>
外部への試料・情報の提供	琉球大学大学院医学研究科細胞病理学講座へ未染標本を郵送します。臨床情報に関してはメールもしくは郵送にて送付します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	<p>愛知医科大学病院</p> <p>病理診断科</p> <p>担当者：助教 佐藤 啓</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 37422)</p>